

質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書3. (2) ①について、ヒアリング先の選定において環境省の持つコネクションを活用させていただくことは可能でしょうか。	可能です。
2	仕様書3. (2) ②について、対象となる学会を想定するため、可能であれば具体的に学会から収集したい情報をご教示ください。	石綿健康被害救済制度の認定疾病（中皮腫等）、石綿関連疾患に関する学会を想定してください。例えば、今年の10月アメリカのフィラデルフィアで開催される学会等が想定されます。
3	仕様書3. (2) ③について、文献調査は「16ヵ国を想定」とありますが、過年度の報告書ではアメリカが含まれていない状況で16ヵ国の調査結果が表にまとめられています。今年度はアメリカも含めて、合計17ヵ国を表にまとめるという理解でよろしいでしょうか。	仕様書3. (2) ①でアメリカ及びドイツに係る文献調査が書かれているため、仕様書3. (2) ③では、アメリカを含めず16ヵ国として下さい。
4	仕様書4. ②について、『本年度の調査内容と比較して、令和6年度までに行った「石綿健康被害救済制度に関する海外動向等調査業務」の内容について、表等にまとめる』とのことですが、一つの表に今年度の内容と一昨年度の内容を併載する必要はありますか。	令和6年度までに行った本業務の内容と、今年度の調査内容を比較できれば問題ございません。一昨年度の内容と併載する必要はございません。